



名酒三百首
銀巴集

特別
~4
8049



名取三百首

名取河

山嶽



名取の川も昔は
今も昔も流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる

名取の川も昔は
今も昔も流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる
水は清く流るる

くさくさのうらみ 園のまへにけりゆく
昔のうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
おぼろのうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
くさくさのうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
都筑の人々 昔のうらみ 昔のうらみ

玉藻川

肥後

玉藻川のうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
くさくさのうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ

くさくさのうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
梅のうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
くさくさのうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
梅のうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
くさくさのうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
玉藻川のうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ
くさくさのうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ

玉藻

播磨

くさくさのうらみ 昔のうらみ 昔のうらみ

花の香りとくちを花の香りにけり何れも花の
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに

高城の

大和

清きらりいさむらうの青柳高城の
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに
心は花の香りにけり花の香りにけり花の香りに

高城の

大和

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

侯現海

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

別れをいそいで暮しのいそいで

志賀の浦

近江

あはれなる酒風情に海を渡る暮れに花
のいそいで余れに花のいそいで花のいそいで
春のいそいで花のいそいで暮れのいそいで

春風よとらり花のいそいで暮れに花
は海を渡る花のいそいで海を渡る
花のいそいで海を渡る花のいそいで

花のいそいで暮れのいそいで

春風のいそいで暮れのいそいで
花のいそいで暮れのいそいで

三浦の

松津

春のいそいで暮れのいそいで
花のいそいで暮れのいそいで
春のいそいで暮れのいそいで

ATMOSPHÆRE
OF THE
EARTH
AND
THE
OCEAN

増電浦

奥列

増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列

増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列
増電浦の奥列

増電浦

後行

増電浦の奥列

おはりのけりくはたはるよき中はけりけり
まのいれはしとてまのいれまのいれまのいれ
いれまのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ

まのいれ

まのいれ

まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ
まのいれまのいれまのいれまのいれ

まのいれ

乃湯湯の風をわらへし雨をたれさせ

舟

奥列

都は花さきうあけあけの雲よはる風は
ゆるゆるの雲まはらあけ都とるひをうた
ゆるゆるは今は花さきあけりかきさ
わらう春のうたをうたはるあけをうた
若きしよも湯の雲のうたのうたあけ
くわらう春のうたをうたはるあけをうた

舟
あけあけのうたをうたはるあけをうた

水

舟

あけあけのうたをうたはるあけをうた
あけあけのうたをうたはるあけをうた
あけあけのうたをうたはるあけをうた
あけあけのうたをうたはるあけをうた
あけあけのうたをうたはるあけをうた

あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて

東抄

奥列

あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて

あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて

夏十首

大井門

山城

あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて
あはれなるもよほしきものぞとて

江の浦の舟にのりて... (The boat on the river...)

舟の白帆を... (The white sail of the boat...)

江の白帆を... (The white sail of the boat...)

江の白帆を... (The white sail of the boat...)

江の白帆を... (The white sail of the boat...)

江の白帆を... (The white sail of the boat...)

江の白帆を... (The white sail of the boat...)

藤田書

和泉

風を君は... (The wind is for you...)

舟の白帆を... (The white sail of the boat...)

舟の白帆を... (The white sail of the boat...)

舟の白帆を... (The white sail of the boat...)

舟の白帆を... (The white sail of the boat...)

舟の白帆を... (The white sail of the boat...)

舟の白帆を... (The white sail of the boat...)

Handwritten text in cursive script, likely a list or account, starting with a large initial letter.

Handwritten word or phrase, possibly a section header or a specific item name.

Handwritten word or phrase, possibly a section header or a specific item name.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, likely a list or account, starting with a large initial letter.

Handwritten word or phrase, possibly a section header or a specific item name.

Handwritten word or phrase, possibly a section header or a specific item name.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

この書は唐の書に倣ひて書か
るるものなり其の書は唐の
書に倣ひて書かるるもの
なり其の書は唐の書に倣
ひて書かるるものなり其
の書は唐の書に倣ひて書
かるるものなり其の書は
唐の書に倣ひて書かるる
ものなり其の書は唐の書
に倣ひて書かるるものなり

善の如く書

書

其の書は唐の書に倣ひて書かるるものなり其の書は唐の書に倣ひて書かるるものなり

其の書は唐の書に倣ひて書かるるものなり其の書は唐の書に倣ひて書かるるものなり

其の書は唐の書に倣ひて書かるるものなり其の書は唐の書に倣ひて書かるるものなり

其の書は

書

其の書は唐の書に倣ひて書かるるものなり其の書は唐の書に倣ひて書かるるものなり

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the right page of the manuscript.

射的

西

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the left page of the manuscript.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the right page of the manuscript.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the left page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style.

冬十首

清滝川

山あり

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style.

書りて田家なるはるばるの事なり
神書なる海なることいふは
なることいふは田家なるはるばるの事なり
はるばるの事なりいふはるばるの事なり

田家

田家

なる事なる事なる事なる事なる事なる事
月事なる事なる事なる事なる事なる事なる事
なる事なる事なる事なる事なる事なる事

なる事なる事なる事なる事なる事なる事
なる事なる事なる事なる事なる事なる事
なる事なる事なる事なる事なる事なる事

なる事なる事なる事なる事なる事なる事
なる事なる事なる事なる事なる事なる事
なる事なる事なる事なる事なる事なる事

田家

田家

あつたはたの国をいかにせんか
まよふともいふはたの国をいかにせんか
林田のまよふはたの国をいかにせんか
指くるといふはたの国をいかにせんか

讀ふ

讀ふ

あつたはたの国をいかにせんか
まよふともいふはたの国をいかにせんか
林田のまよふはたの国をいかにせんか
指くるといふはたの国をいかにせんか

あつたはたの国をいかにせんか
まよふともいふはたの国をいかにせんか
林田のまよふはたの国をいかにせんか
指くるといふはたの国をいかにせんか

あつたはたの国をいかにせんか
まよふともいふはたの国をいかにせんか
林田のまよふはたの国をいかにせんか
指くるといふはたの国をいかにせんか

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes several lines of text and two distinct vertical markings or symbols.

根の神と云ふ事なり此の神の書は
その神の神と云ふ事なり此の神の書は
その神の神と云ふ事なり此の神の書は

相済

奥列

その神の神と云ふ事なり此の神の書は
その神の神と云ふ事なり此の神の書は
その神の神と云ふ事なり此の神の書は

海神と云ふ事なり此の神の書は
海神と云ふ事なり此の神の書は
海神と云ふ事なり此の神の書は

その神の神と云ふ事なり此の神の書は
その神の神と云ふ事なり此の神の書は
その神の神と云ふ事なり此の神の書は

結語橋

奥州

あつらひたすの橋は揚子江の橋は神は
とこしほ橋はしほは共さうなるは
我ら神の橋して橋はしほは

昔琴のと縁ら事ほはあはれ
し橋はしほは共さうなるは
つの中と縁ら事ほはあはれ

歌うのよと縁ら事ほはあはれ
し橋はしほは共さうなるは
つの中と縁ら事ほはあはれ

去り朝の白く
去り朝の白く
去り朝の白く

心海に我身をまて言ふる命をてあはれ
と見よと心海にまて言ふる命をてあはれ

名取川

奥の島

あつらひの海をわたり名取川海流の神あつらひ
我を祀あつらひ海流の神あつらひ
とて有る言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ
よふの天とて中とて下とて人とて
あつらひ海流の神あつらひ海流の神あつらひ

名取川海流の神あつらひ海流の神あつらひ
海流の神あつらひ海流の神あつらひ
とて有る言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ
よふの天とて中とて下とて人とて
あつらひ海流の神あつらひ海流の神あつらひ

新女首

名取川

奥の島

あつらひの海をわたり名取川海流の神あつらひ
我を祀あつらひ海流の神あつらひ
とて有る言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ
よふの天とて中とて下とて人とて
あつらひ海流の神あつらひ海流の神あつらひ

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, starting with a large initial character.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes from the previous page.

Handwritten text in cursive script, including several lines of text and two vertical labels: 鈴鹿川 (Suwayama River) and 伊賀 (Iga).

Handwritten text in cursive script, likely a list or account. The text is written vertically on the right page of the open book. It appears to be a list of items or names, possibly related to a collection or inventory.

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. It includes several lines of text, possibly names or descriptions of items.

通古

後

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. It includes several lines of text, possibly names or descriptions of items.

か 帰心かあそとまてあつていふ事いふ事いふ事いふ事

天橋立

丹波

東の原いづかの木ありて 秋風いづく時ぞ
いづ野とて天の橋立とらふや けふの昔とある時ぞ
いづ木ありて 青杉松とてはとらふとて けふとて
いづや橋立とていづ原とて けふとて けふとて
いづもふ 二首の昔とて けふとて けふとて
か 大江山の昔とて けふとて けふとて けふとて

鳥羽の昔とていづ原とて けふとて けふとて けふとて
天の橋立とて 青杉松とてはとらふとて けふとて
いづ野とて天の橋立とらふや けふの昔とある時ぞ
いづ木ありて 青杉松とてはとらふとて けふとて
いづや橋立とていづ原とて けふとて けふとて
いづもふ 二首の昔とて けふとて けふとて
か 大江山の昔とて けふとて けふとて けふとて
鳥羽の昔とていづ原とて けふとて けふとて けふとて
天の橋立とて 青杉松とてはとらふとて けふとて
いづ野とて天の橋立とらふや けふの昔とある時ぞ
いづ木ありて 青杉松とてはとらふとて けふとて
いづや橋立とていづ原とて けふとて けふとて
いづもふ 二首の昔とて けふとて けふとて
か 大江山の昔とて けふとて けふとて けふとて

あまの原をたづねてみれば
花のうららかなるに
朝もあけぬとて
くさねのうららかなるに
あまの原をたづねてみれば

多摩川

城

あまの原をたづねてみれば
花のうららかなるに
朝もあけぬとて
くさねのうららかなるに
あまの原をたづねてみれば

あまの原をたづねてみれば

あまの原をたづねてみれば
花のうららかなるに
朝もあけぬとて
くさねのうららかなるに
あまの原をたづねてみれば

あまの原をたづねてみれば
花のうららかなるに
朝もあけぬとて
くさねのうららかなるに
あまの原をたづねてみれば

龍市

大和

切引流の甘水 (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
と流し切門のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
我世のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
はかたわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
我世のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
と流し切門のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)

長柄橋

橋津

切引流の甘水 (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
と流し切門のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
我世のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
はかたわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
我世のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
と流し切門のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)

あうしと若くは (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
と流し切門のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
我世のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
はかたわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
我世のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)
と流し切門のわきわき (Sweet Water) 一 (Sweet Water)

楊子あまきこちの海にまをりし今もいづれもいづれ
花の楊のまにかをりしはまをりしはまをりし
かぶるの庭にあらはれし海にまをりしはまをりし
花の楊のまにかをりしはまをりしはまをりし
我らうかたあまをりしはまをりしはまをりし
はまをりしはまをりしはまをりしはまをりし
とてまをりしはまをりしはまをりしはまをりし
火の海にまをりしはまをりしはまをりしはまをりし

よあつりしはまをりしはまをりしはまをりしはまをりし
とてまをりしはまをりしはまをりしはまをりし

流しよの庭にあらはれし海にまをりしはまをりし
花の楊のまにかをりしはまをりしはまをりし
花の楊のまにかをりしはまをりしはまをりし
花の楊のまにかをりしはまをりしはまをりし

作中

幸

花の楊のまにかをりしはまをりしはまをりしはまをりし

とて

Handwritten text in cursive script, likely a signature or a short note.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a title.

Handwritten characters, possibly a name or a specific title.

Handwritten characters, possibly a name or a specific title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a title.

Handwritten characters, possibly a name or a specific title.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, occupying the top half of the page.

通函

未定

Handwritten text in cursive script, continuing the letter or document, occupying the bottom half of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, occupying the top half of the page.

未定

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text, possibly a signature or a specific name, located in the middle of the page.

Handwritten text, possibly a signature or a specific name, located at the bottom of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across several lines.



